

ともに創ろう！ 未来につながる

安心室蘭

ひろとも通信

2020

ガーベラ号

ガーベラの花ことばは、「希望」や「常に前向き」です。



室蘭市議会議員 滝口 紘子

たきぐち ひろこ

皆さんこんにちは。2019の4月、皆さんの大きな応援によって室蘭市議会議員に初当選させていただきました。この1年は、不安や焦りを抱えながら無我夢中に走りつづけました。

これからも皆さんの声や思いに学び、よりよい室蘭を創るために力を尽くします。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関する相談

- 室蘭保健所 ☎0143-24-9833
- 中小企業等支援について
室蘭市経済部産業振興課 ☎0143-22-1117
- 生活福祉資金特例貸付について
室蘭市社会福祉協議会 ☎0143-83-5031
- 市税の納付相談について
市税課債権管理係 ☎0143-25-3177

2019年度質問報告

6月 SDGsへの室蘭市の取組について

SDGs（※裏面参照）の室蘭市の取組と、目標5「ジェンダー平等の実現」について質問しました。

投票環境の向上について

投票率低下の現状と投票所の在り方や障がいのある方・高齢者への支援などについて質問しました。



3月 食品ロス削減の取組について

現状と今後の取組や、フードバンクや子ども食堂への支援について質問しました。

【答】本市の食品ロス（家庭分）の年間総量は推定約2,496t、廃棄コストは約5,698万円。

今後は、

- ・「食品ロス削減推進計画」を策定する。
- ・市の災害時用備蓄食材の内賞味期限が1年以下のものは訓練の他フードバンクへ寄付する方向で調整する。
- ・関係機関との情報の共有や連携を強化する。

JXTG事業変更に伴う影響について

JXTGエネルギー室蘭製造所は2019年4月に製造を停止し、事業所（物流拠点）に転換しました。同社は室蘭市工業用水道を利用していましたが、2020年1月に「使用中止届」を提出。一方、道の工業用水道については引き続き利用することから、市の工業用水道は廃止も含めて在り方を検討すべき、と質問しました。

【答】多角的に検討し、早期に適切な判断をしたい。

3月 室蘭市都市計画マスタープランについて

中央地区における満足度の高い「質的回遊性」の向上にどう取り組むのか、また、歩道橋、特に千歳歩道橋の在り方に対する市の見解について質問しました。

【答】

- ・「炭鉄港」等新たな要素を含めた散策コースの再整備や、公共施設や「まちなかオープンスペース（旧大辻医院跡地）」を有機的に結ぶことで質的回遊性の向上に取り組む。
- ・歩道橋は、ユニバーサルデザインの概念を取り入れたバリアフリーの配慮が必要。「千歳歩道橋」については、道と協議していきたい。

質問項目一覧

予算委員会

- 9月 ● 旧絵鞆小学校解体経費について
- 公設地方卸売市場基本設計委託費について
- 12月 ● 生活困窮者自立相談支援等業務委託費について
- 水道施設整備事業費について
- 3月 ● 出合いの場サポート事業費補助金について
- 学会等開催支援事業費補助金について
- 結婚・出産新生活応援助成金について
- だんパラスキー場運営管理委託費について
- 絵鞆庁舎（旧絵鞆小学校校舎棟）補修費について

決算委員会

- 観光施設整備費について
- 手話条例関連施策について
- サンライフ室蘭について
- だんパラスキー場・白鳥ヒュッテについて
- まちづくりトークイベントについて



SDGsの取り組みを進めましょう

2015年国連総会でSDGs（エス・ディー・ジーズ）別名「持続可能な開発目標」が採択されました。

誰ひとり取り残さない社会の実現にむけて17個の目標で構成。2030年までの達成が求められており、室蘭市も積極的に取り組んでいます。

<SDGsの特徴は>

17個の目標がお互いにつながっていることです。例えば「食品ロスの削減」について・・・食品ロスが発生させない生産体制や購買行動を選択する（目標12）→それでも発生した食品ロスについてはフードバンクや子ども食堂に寄付する（目標1）→

食品ロスを減らすことは世界の飢餓を減らすことにもつながる（目標2）・・・など、簡単な一例ですが、様々な目標が密接につながっています。

<すべての目標に求められるのは>

「5 ジェンダー平等を実現しよう」です。ジェンダーとは、生まれながらの性別ではなく、社会的・文化的につくられた性別で、「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という先入観が不平等や差別を生んでいます。ジェンダー平等を実現することで、すべての人が自らの能力を最大限発揮できる機会を享受することができます。意思決定の場に女性を含むマイノリティを増やし、持続可能な社会に向けて意識的に取り組んでいきましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



室蘭開拓の歴史に思いを馳せる

今から150年前の1870（明治3）年4月6日、仙台藩角田支藩（現在の宮城県角田市）の石川家家臣団44戸51人が現在の石川町と本輪西あたりに入植しました。

戊辰戦争で敗れた仙台藩は、武士として生きる道を北海道開拓に託しました。室蘭開拓の中心は、添田龍吉と泉麟太郎の兄弟。「第2の故郷をつくる」という強い意志で原生林を仙台鍬で開拓。農業の他に、牧畜、養蚕、製鉄、製氷など生きていくために様々な事業に挑戦しました。

その後、麟太郎は現在の栗山町に入植しました。

現代にその歴史を伝えるものとして、本輪西八幡神社、幡守神社、清瀧不動尊の滝、等があります。また、民族資料館（とんてん館）・図書館・港の文学館には資料や当時の道具等が展示されています。

今年は辛酸をなめながら生き抜いた石川家家臣団に思いを馳せてみませんか。



室蘭開拓の祖・添田 龍吉

発行

滝口ひろ子と未来を創る会

〒051-0011 室蘭市中央町3丁目6-5 フルミチビル3F-B
TEL・FAX 0143-23-4650
メールアドレス takihiro@crest.ocn.ne.jp

ホームページ

<https://takihiro.jimdofree.com/>

Facebookでも発信しています

